

# 授業づくり

# ○個の違いへの対応

## ○マグネット黒板を利用したノート指導

- ・1年生の入門期におけるノートの書き方指導
- ・言語からの情報だけでは、正しく理解することが難しい児童への支援

### 【なぜこの支援が有効になるのか】

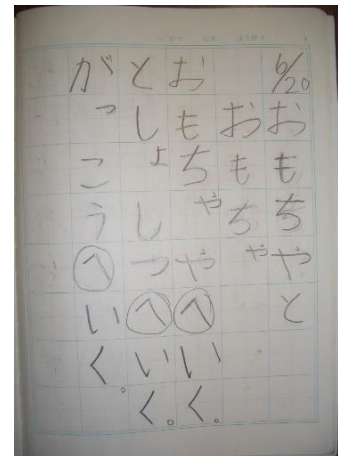
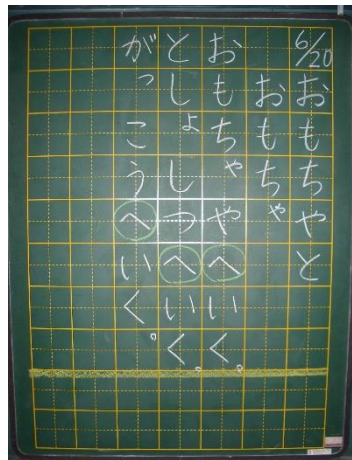
言葉の学習とひらがなを同時進行で学習していく1年生の児童にとって、初めてノートに書くことは多くの抵抗があります。ノートと同じマス目の黒板を使って書き方を指導することは、文字を正しく書く、ノートの使い方を知るといった点で有効です。また、言語だけの情報では正しく理解できない児童が、いつでもノートと同じ黒板を見ながら書くことができる視覚的支援は有効です。

### 〈支援・指導の実践例〉

#### 1 国語科のノート指導

##### 【指導できること】

- ①日付、題の書き方
- ②改行するところ
- ③拗音、促音の表記の仕方
- ④句点を打つ位置
- ⑤助詞「へ」の表記と使い方
- ⑥正確な文字



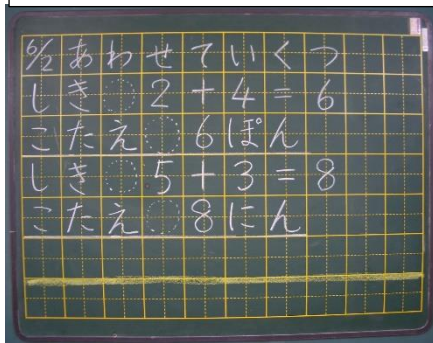
### 〈指導のポイント〉

- ・ノートのマスと同じになるように線を引く。
- ・どこから書き始めるのか、黒板を指さして示す。
- ・日付を書き、書けたか確認する。
- ・1行書き、注意する文字や書き方を説明する。その後、児童に書かせる。
- ・正しく書けたか机間指導で確認し、間違えている児童はその場で指導する。
- ・1行ずつ書き、確かめる、を繰り返す。（※必ず確かめることが大切。）

#### 2 算数科のノート指導（指導のポイントは国語科のノートと同じ）

##### 【指導できること】

- ①日付、題の書き方
- ②文章題の式、答えの書き方。（1マス空けることも）
- ③答えの下に線を引くこと
- ④計算問題の書き方



※この指導を数回繰り返すと、算数ノートは黒板なしでも書けるようになります。